

いわきの歴史を伝える文化財

トピックス

市教育委員会は、五月二日、新たに三件の有形文化財と一件の天然記念物を、市指定文化財に指定しました。

有形文化財

○吉田家門 Ⅱ 泉町 個人所有

部材の風化具合から、江戸時代の後期に創建されたものと推測され、かつて泉藩の館にあった門を、移築したものであるといわれています。

幾度となく変更がなされた跡が見られますが、形を



吉田家門

変えながら、現代まで守り伝えられてきたことにも価値があり、いわき地方における数少ないお城の遺構として、保存・保護すべき建物です。

○木造不動明王立像 Ⅱ 遠野町上遠野 円通寺所有

寺に残る記録から、嘉吉二(一四四二)年頃に中央(京都)の正統的仏師により作られたものと推測されます。

室町時代初期の造形の特



木造不動明王立像

徴が見られ、当時の仏像の中でも製作技術が優れており、基準作ともいえる作品です。いわき地方の有力な領主層による造像と考えられ、その遺品として歴史的にも価値があります。

○奥州磐城平城下絵図 Ⅱ 小名浜 個人所有

内藤家藩士の小林全當が、主君と共に、日向国(宮崎県)延岡に移った二年後の寛延二(一七四九)年に、記憶を頼りに望郷の思いで



奥州磐城平城下絵図

描いた平城下の絵図です。

軍事的な意味合いが強い。そのため、描かれることが少ない城郭内の施設のほか、家臣屋敷や町屋の位置など、当時の城下の様子を詳細に伝えており、大変貴重な歴史資料です。

天然記念物

○井戸沢断層(塩ノ平断層) Ⅱ 田人町黒田 個人所有

東北地方太平洋沖地震の大規模余震(平成二十三年四月十一日発生)で出現した断層で、最大で二メートルほどのずれが確認できます。

海溝型地震によって内陸活断層が活動し、余震を起こして出現した、日本初の



井戸沢断層(塩ノ平断層)

正断層型の地震断層として、大変貴重なものです。

◇ 今回の指定により、市内にある市指定文化財は百八十六件となりました。

お問い合わせ
文化振興課文化財係
☎ 22・7546

兄弟都市・延岡市を知ろう

○延岡市の概要

延岡市は宮崎県北部に位置し、九州山地を背に日向灘に面する、人口約十三万人の市です。九州地方では二番目に広い面積を有しており、旭化成(株)を中心とする工業都市として発展しています。

○交流の経緯

本市とは、江戸時代の共通の藩主・内藤公を有するという、歴史的な絆を縁として、民間団体を中心とした交流が行われてきました。内藤公の延岡転封二百五十年を迎えた平成九年に、



延岡市のランドマーク・旭化成せんい(株)の煙突がそびえる市内の風景

双葉郡8町村と 合同要望を実施

四月二十七日、国に対し、双葉郡八町村(双葉地方町村会)と合同で要望を実施しました。

内閣府では、遠藤東京オリンピック競技大会・パラリンピック競技大会担当大臣に、二〇二〇年東京大会での合宿地の誘致や野球・ソフトボール競技の開催について、国土交通省では、石井国土交通大臣に、JR常磐線の早期全線復旧と常磐自動車道の全区間四車線化などを要望しました。

今後、双葉郡八町村と連携しながら、地域復興や課題解決に取り組んでいきます。



遠藤大臣(左から3番目)に要望書を手渡す清水市長

こんにちは市長室から ⑭



次なる50年に向けて！ 「しごとづくり」

いわき市長 清水 敏 男

いわき市の復興・創生の柱の一つ「しごとづくり」を具現化する出来事として、先月、新たな動きがいくつかありました。

一つには、農業の新たな試みで、四倉地区に(株)JRとまとランドいわきファームおよび、(株)ワンダーファームが複合型農業体験施設としてランドオープンしました。本市農業の6次化を進める画期的な事業であり、今後の広がりに期待したいと思います。

二つには、いわき大王製紙(株)の隣地にエリエールプロダクト(株)いわき工場第1期工事が完了しました。主に、紙おむつを生産する工場が完成し、将来は海外向けに事業を拡大することが見込まれ、今後の工場増設や小名浜港の利用促進が期待されています。

三つには、(株)ドームの物流センター「ドームいわきベース」が本格稼働しました。多くの若者を雇用しているほか、将来のサッカーJリーグ入りを目指す新生「いわきFC」を立ち上げており、今後が楽しみです。

これらは、本市復興の追い風となる動きであり、本年3月に制定した「市中小企業・小規模企業振興条例」を最大限に生かしながら、次なる50年に向けた地場産業を育成することが、本市発展の鍵となります。

市民のひろば

～地域が輝く!明るく 元気な いわき～

レポート②②⑥

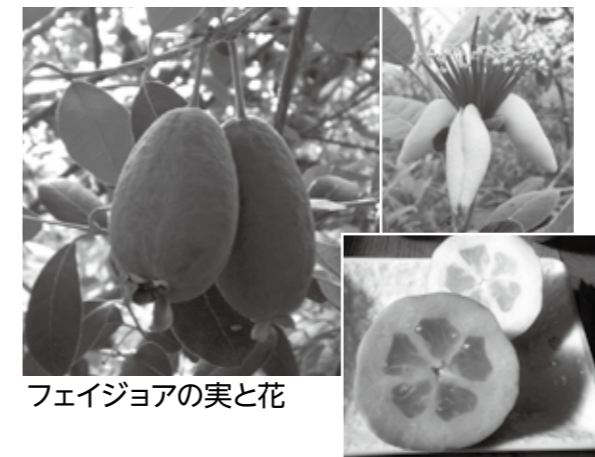
今月号は、小川町で南米原産の熱帯果樹フェイジョアを栽培している「ゆうゆうファーム」代表の丸山雄三さんに、フェイジョアの栽培を通じた地域とのつながりなどについて、インタビューした内容をお伝えします。



丸山雄三さん(右)と妻の友子さん

Q フェイジョアの栽培を行うことになったきっかけを教えてください。
A 東京で建設関係の会社員をしていたころ、妻と旅行で訪れたニュージーランドで、独特の花の美しさ、完熟した実の放つ得も言われぬ香りに魅了されたのが「フェイジョア」との出会いでした。
本格的にフェイジョアを栽培したいと、早期退職して、栽培に適した土地を探すために、長崎県や和歌山県、千葉県などに足を運びましたが、この小川町で、緑の美しさや沢水の音など、自然環境に魅力を感じ、平成十五年九月に移住しました。
Q 栽培を始めていかがでしたか。
A 初めて暮らす土地での、初めての

農業は苦労の連続でした。
また、栽培が軌道に乗り始めた矢先に東日本大震災が発生し、原発事故の風評により注文が減り、その後、台風や記録的な大雪に見舞われるなど、幾度となく大きな被害を受けてきました。
でも、ここで諦めずに、もう一度頑張ろうという気持ちと、地域の皆さんやボランティアで訪れる皆さんなど、多くの支えにより持ち直すことができました。
Q 栽培を通じた地域とのつながりを教えてください。
A フェイジョアはそのまま食べてもおいしいですが、お菓子やお茶など、さまざまなものに加工することができ、そこで加工品の開発に力を



フェイジョアの果実と花

入れ、小川町の特産の一つとして根付いていくよう、取り組んでいきたいと考えています。
また、地域の方から、フェイジョアの苗木を庭に植えて育てたいとの話をいただいたりしています。今後は、小・中学校にも植えるなどして、フェイジョアの花の美しさや実のおいしさ、素敵な香りを子どもたちに知ってもらいたいと思います。
Q 今後の抱負を教えてください。
A 小川町から全国にフェイジョアの魅力を発信して、より多くの方に食べていただけるよう、大切に育てていきたいです。そして、この自然豊かな小川町を、全国の皆さんにPRしていきたいと思っています。



小川町の特産物になるよう加工品を開発

いわきの五十年を振り返る

新川緑地

平市街の南域を東西に流れる新川。かつてこの川が「古川」、現在の新川緑地(旧新川)が「新川」と呼ばれていた時代があったの

をこ存じでしょうか。
江戸時代、旧新川は平市街の南外れを流れる川でした。明治時代には桜が植えられ、春ともなると雪洞に明かりが灯され、大勢の花見客がその美しさを愛でて

いました。
しかし、大正時代から市街が南進。昭和時代になると、生活雑排水で汚れが目立つようになり、また洪水対策を取るにしても、周辺は住宅化して、もはや河川

いわき市は本年十月に、市制施行五十周年を迎えます。本市のこれまでの歩みを、市内各所の過去と現在の写真を比較し、エピソードを交えながら振り返ります。

改修ができない状況でした。

このため、昭和十(一九三三)年から古川を新川として付け替える河川改修に着手し、昭和二十三(一九四八)年に完成しました。旧新川をどうするか、さまざまな案が浮かびましたが、昭和四十三(一九六八)年から四十八(一九七三)年に暗渠化され、一部駐車場からなる、環境に配慮した新川緑地に生まれ変わりました。

カタチこそ昔と異なるものの、今も緑豊かな憩い空間として、散策する人々を楽しませてくれます。
(いわき地域学會 小宅幸一)



〈写真1〉河川改修が行われている旧新川。背景に平市公会堂が見える(昭和27(1952)年11月、松本正平氏撮影・松本正夫氏提供)



〈写真2〉写真1の現在の風景(市文化センター北側の新川緑地)。旧新川は暗渠化され、散歩道となっている(平成28(2016)年5月、いわき市撮影)

※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただける方は、ふるさと発信課(☎22・7503)まで。

5月16日(月)の市役所本庁舎、各支所・市民サービスセンターでの放射線量測定値

庁舎・支所	平(本庁)	小名浜	勿来	常磐	内郷	四倉	遠野	小川	好間	三和	田人	川前	久之浜・炊
地上1m	0.093	0.035	0.040	0.054	0.042	0.052	0.050	0.056	0.051	0.073	0.063	0.065	0.058

測定時刻: 11時
単位: マイクロシーベルト/時
出典: 原子力規制委員会ホームページより
モニタリングポストは、マイクログレイ/時で測定されていますが、本表では1マイクログレイ/時=1マイクロシーベルト/時と換算して表示しています。

※過去における測定値、平成22年度の市内の状況については、0.04~0.07マイクロシーベルト/時で推移していました。(福島県ホームページより)

水道水の放射性物質の測定結果
水道局では、市内全12浄水場の水道水を週3回(法田第一ポンプ場・旅人浄水場・上遠野浄水場は週1回)検査しています。現在の検査結果は、放射性ヨウ素・放射性セシウムとも、全て不検出(1ベクレル/kg未満)であり、安心して飲んでいただけます。

放射線に関する問い合わせ窓口(県設置窓口) ☎0120-988-359 平日: 8時30分~18時15分 土日祝: 8時30分~正午